

# 公約評価などの 運営方針を確認

八戸市総合計画等  
推進市民委初会合

八戸市は23日、市総合計画等推進市民委員会（委員長・丹羽浩正八戸学院大教授）の2022年度の初会合を市庁で開いた。第7次市総合計画（22～26年度）や第2期市まち・ひと・しごと創生総合戦略（20～24年度）に関する調査、審議に加え、熊谷雄一市長が掲げた政策公約の取り組み状況などを評価する本年度の運営方針を確認した。



委員会は大学や金融、商工団体、認定こども園などの関係者10人で構成。事務

本年度の委員会の運営方針を確認した初会合＝23日、八戸市庁

局の市は関係条例の改正を経て、委員会が7月から政策公約について評価する新たな審議内容を説明した。今後、議論を重ねて評価をまとめ、9月下旬に熊谷市長へ意見書を提出する。

丹羽委員長は取材に「行政の事業は年代などによっても評価が異なる。市長の話に加え、いろいろな方々の意見も聞きながら審議を進めたい」と話した。

（松原一茂）